

宝塚市長に中川氏再選

神戸新聞 2013/4/15

任期満了に伴う宝塚市長選は14日、投開票され、無所属現職の中川智子氏（65）が、無所属新人の樋之内登志氏（58）＝自民推薦、無所属元職の渡部完氏（54）、日本維新の会公認新人の多田浩一郎氏（40）＝みんな推薦、無所属新人の山田利恵氏（43）を抑え、再選を果たした。投票率は前回は1・74ポイント上回る45・94%だった。

同市初の女性市長である中川氏は、市民派として政党色を抑えて選挙戦を展開。大阪以外の首長選で初めて公認候補を擁立した維新の「大阪都構想」を意識し、「宝塚を大阪にしない」と強調して支持を広げた。

多田氏は、公務員改革を前面に出し、市政刷新を主張。橋下徹共同代表、松井一郎幹事長ら党幹部や国会議員が頻繁に応援に入ったが、届かなかった。元市部長の樋之内氏は保守層を固めきれず、渡部氏も返り咲きを目指したが伸びなかった。

同日の市議補選は、無所属元職の自治会役員浜崎史孝氏（66）が当選した。